備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成23年度事業）

事業の概要

事業開始年度	平成15年度	根拠法令・例規等	サイクリングターミナル設置条例
総合計画 大項目	05 住民主体の協働のまちづくり	問合先 担当課（室）	まちづくり推進課
総合計画 中項目 基本施策	01 住民主体で進めるまちづくり	職・氏名	協働推進係長　万波 文雄
総合計画 小項目 施策	03 ボランティア・NPO	電話	0869-64-1806
事務事業名	01 サイクリングターミナル管理運営事業	このシート作成に要した時間	2.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	サイクリング愛好者、ボランティア活動に関心のある方
目的（何のために）	レンタサイクルの貸出などにより市民の健康の増進及び市民相互のふれあいを促進する。また、ボランティア活動に対しても施設を開放している。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	市内外からの利用者に対して、健康増進を図りながら東備地域の恵まれた自然を知っていただく。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
サイクリングターミナル管理運営事業	レンタサイクル、会議室等の貸出。 自転車貸出　20台 会議室使用　会議室、交流室ほか	○

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
事業費	直接事業費	千円	1,576	1,503	1,565
	必要人員 人件費		0.07人 685	0.12人 1,026	0.07人 586
	事業費計		2,261	2,529	2,151
決算額 財源	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他（　）			435	507
	一般財源		2,261	2,094	1,644
受益者負担比率		%	―	―	―

結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
説明		レンタサイクル貸出件数		
結果指標量	件	462	467	576
対前年比	%	80.7%	101.1%	123.3%
活動コスト	円	2,261,000	2,529,000	2,151,000
単位当たりコスト		4,894	5,415	3,734

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
レンタサイクル貸出件数	目標値（A）	550	550	550	550
	実績値（B）	462	467	576	到達目標値
	達成率（B/A）	84.00%	84.91%	104.73%	550

成果指標設定の考え方・式や説明

レンタサイクルの利用人数の増加を図る。

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

必要性

- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

効率性の評価

コスト

- ■ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ■ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である

手段

- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高いや高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

有効性の評価

目的達成度

- □ 成果指標の設定は適切である
- ■ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- □ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ■ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高いや高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：レンタサイクルの貸出しを実施、利用者の安全な運行と地域のPRに心掛ける。
平成21年度にボランティア支援センターは廃止しているが、施設を引き続きボランティアなど自主活動グループの使用に開放していくよう取り組む。

総合評価

施設の認知度が低く、幅広く有効活用できていない。片鉄ロマン街道の利用を促進するため県及び近隣団体との連携を強化していく。

総合評価（A 高いや高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：土日のレンタサイクルの貸出業務を委託し、サービスの向上に努めている。レンタサイクルの貸出数の増加に向けＰＲに力を入れる。また、会議室等施設の利用度を向上させることも課題となっている。片鉄ロマン街道が通っている自治体と情報交換し、サービスを統一化する必要があるかどうかを検討する時期となっている。